

ジョージア国テラヴィ市への訪問について

令和7年5月定例記者会見資料

2025年5月22日

牛久市

1. 訪問の経緯

- ▶ ジョージア国テラヴィ市との交流は、昨年11月、駐日ジョージア大使が母校である県立牛久栄進高校での講演後に当市役所等へ訪問されたことを契機として始まりました。
- ▶ 大使との意見交換の中で、当市から、日本で初めての本格的な西洋式ワイナリーである牛久シャトーが所在する当市にとって、ワイン発祥の地であるジョージア国の自治体と交流することは意義があると考えていることや、その交流希望をお伝えしたところ、その後、大使館から、同国の中でもワイン生産が盛んなカヘティ州の州都であり、多くのワイナリーが所在するテラヴィ市をご紹介いただいたものです。
- ▶ 本年1月には、両国大使同席のもと、沼田市長とテラヴィ市長とのオンライン会議を行い、その会議で、お互いに今後交流を深めていくことを確認するとともに、当市から桜の咲く時期にお越しいただきたい旨提案し、これを快諾いただきました。
- ▶ それにより、去る3月31日から4月3日までの4日間、テラヴィ市長をはじめ、カヘティ州代表、ジョージア国会議員を含む4名の代表団が当市に来訪され、交流を深めました。
- ▶ その際、テラヴィ市長から、5月26日に開催されるジョージア国の独立記念日イベントへのご招待があり、それを受けて、今般、沼田市長が同市を訪問するものです。



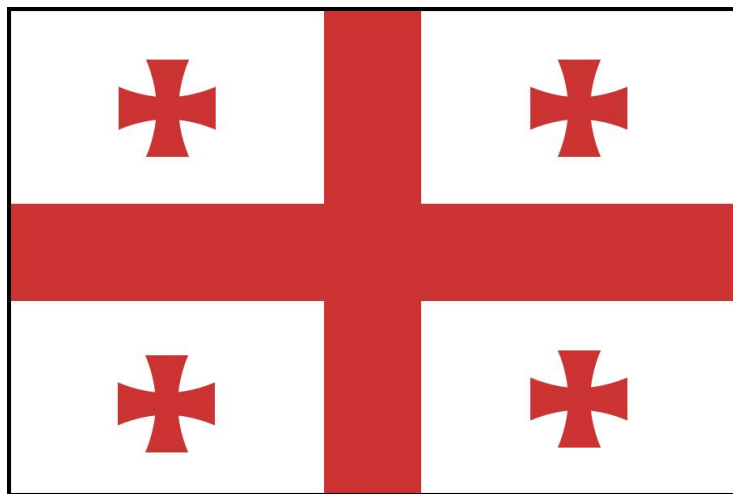
▲テラヴィ市代表団訪問時集合写真

ジョージア国テラヴィ市

- ▶ ワインの名産地カヘティ地方の州都
- ▶ 人口約5万5千人
- ▶ 首都トビリシ(右地図◎)から車で約90分

※1月21日に開催したオンライン会議資料より（テラヴィ市提供）

▼ジョージア国旗



▲ジョージア国テラヴィ市位置

2. 訪問の概要

- ▶ **訪問日程**：令和7年5月23日（金）から5月28日（水）まで
- ▶ ※テラヴィ市滞在は5月24日（土）から5月27日（火）までの4日間
- ▶ **訪問者**：牛久市長、随行市職員2名、ワイン醸造家1名 計4名
- ▶ **訪問費用**：4日間の宿泊費用等はテラヴィ市負担
- ▶ ※渡航費用のみ当市負担（民間参加者は自己負担）
- ▶ **訪問の主な目的**：①テラヴィ市で開催される独立記念日イベントへの参加
- ▶ ②今後の交流及び姉妹都市協定締結の時期・内容についての協議



▲市柔道協会との交流（R7.4.1）



▲市内ワイン醸造所視察（R7.4.1）

市民部市民活動課
担当：斎藤・塚本
(内線1630・1632)